

年 表

年代	時代・時期	県内の代表的な遺跡	主な土器・石器など	県内の主なことごと
約30,000年前	後期旧石器時代	安部（東通村） 田向冷水（八戸市） 大平山元Ⅱ・Ⅲ（外ヶ浜町） 五川目(6)（三沢市）	ナイフ形石器 槍先形尖頭器 細石刃	針葉樹林帯における狩猟・採集生活 氷河期の終焉
約13,000年前	縄文時代	草創期 長者久保（東北町） 大平山元Ⅰ（外ヶ浜町） 表館(1)（六ヶ所村） 黄檗（八戸市） 櫛引（八戸市）	局部磨製石斧 無文土器 隆起線文系土器 爪形文系土器 多縄文系土器	土器づくりが始まる（最古の土器） 弓矢による狩猟の発達 落葉広葉樹林帯の形成 定住生活
約9,000年前		早期 日計（八戸市） 赤御堂（八戸市） 法霊林 （八戸市） 舟場向川久保(2) （七戸町）	押型文系土器 貝殻・沈線文系土器 条痕文系土器 縄文系土器	縄文海進の始まり 貝塚の出現、尖底土器の使用
約6,000年前		前期 早稲田(1)貝塚（三沢市） 畑内（八戸市） 長七谷地貝塚（八戸市）	長七谷地Ⅲ群土器 円筒下層 a 式土器 円筒下層 b 式土器 円筒下層 c 式土器 円筒下層 d 式土器	円筒土器文化の始まり 大規模集落の形成と大量の土器
約5,000年前		中期 三内丸山（青森市） 平畑(3)（三沢市） 水上(2)（西目屋村） ニツ森貝塚（七戸町） 一王寺（八戸市） 餅ノ沢（鯉ヶ沢町）	円筒上層 a 式土器 円筒上層 b 式土器 円筒上層 c 式土器 円筒上層 d 式土器 円筒上層 e 式土器 大木式系土器	他地域との活発な交易 大規模貝塚の形成 円筒土器文化の終焉
約4,000年前		後期 葦窪（八戸市） 焼畑(2) （大間町） 吹越(2) （横浜町） 十腰内（弘前市） 酪農(3) （むつ市） 米山(2) （青森市）	牛ヶ沢(3)式土器 十腰内Ⅰ式土器 十腰内Ⅱ式土器 十腰内Ⅲ式土器 十腰内Ⅳ式土器 十腰内Ⅴ式土器	十腰内文化の始まり 大規模環状列石の出現 石棺墓・甕棺墓など特殊葬制 祭祀遺構・遺物の多様化 （動物意匠遺物）
約3,000年前	晚期	川原平(1)（西目屋村） 大森勝山（弘前市） 是川中居（八戸市） 亀ヶ岡（つがる市）	大洞 B 式土器 大洞 B C 式土器 大洞 C 1・C 2 式土器 大洞 A・A' 式土器	亀ヶ岡文化の始まり 卓越した土器製作技法と 豊富な器種 漆文化の発達
約2,000年前	弥生時代	前期 舟場向川久保(2) （七戸町） 板子塚（むつ市） 後期 垂柳（田舎館村）	砂沢式土器 二枚橋式、五所式土器 田舎館式土器 天王山式土器	米づくりの始まり 遠賀川系土器 稲作と狩猟・採集の生活
（西暦250年頃）	古墳時代	前期 猪ノ鼻(1)（七戸町） 森ヶ沢（七戸町） 田向冷水（八戸市） 市子林（八戸市）	土師器・須恵器 後北式・北大式	寒冷な時代 希少な遺跡数 かまど付き方形竪穴住居の構築 北方文化との強い結びつき
（西暦710年）	飛鳥時代 奈良時代	阿光坊古墳群（おいらせ町） 白蛇（八戸市） 法霊林 （八戸市）	土師器・須恵器	蝦夷の地、律令国家の支配地外 終末期古墳群の造営 馬産の開始
（西暦794年）	平安時代	野木（青森市） 五所川原須恵器窯跡群 （五所川原市）	土師器 須恵器	集落の急激な増加（集団移住？） 五所川原に日本最北の須恵器窯 塩・鉄関連遺跡の増加
約1,000年前		上野平 （むつ市） 舟場向川久保(2) （七戸町） 法霊林 （八戸市） 高屋敷館（青森市）	灰釉・緑釉陶器 擦文土器 かわらけ 陶磁器（中国産）	十和田湖の噴火と降灰（915年頃） 白頭山の噴火と降灰（947年頃） 環壕集落や防御性集落の出現 奥州藤原氏の支配
（西暦1185年）	鎌倉時代 室町時代	十三湊・福島城（五所川原市） 聖寿寺館（南部町） 米山(2) （青森市）	珠洲・常滑・瀬戸 （国産） 青磁・白磁・染付 （中国産）	御家人の配置 安藤氏の繁栄と南部氏の台頭 他地域・国外との交易活発化 中世城館の構築
（西暦1590年）	安土桃山時代 江戸時代	三戸城（三戸町） 野脇、堀越城（弘前市） 弘前城（弘前市）	肥前系陶磁器 小久慈焼（八戸領） 悪戸焼・下河原焼 （弘前領）	南部氏の支配と津軽氏の独立 盛岡藩・八戸藩・弘前藩の支配

※太字(ゴシック体)は掲載遺跡